

女性の活躍応援プロジェクト事業【岐阜県】

地域の実情と課題

- ・本県における産業別従業員数は製造業が25%と全国平均16.6%と比べ高い。
- ・製造業における女性雇用の割合は19.6%と全国平均12.7%と比べ高い状況にあるが、平均勤続年数は8.9年と全国平均9.1年と比べても低い。
- ・また、共働き世代の割合は32.3%で全国7位であるが、子どもの年齢別共働き世代の割合は0～2歳については全国平均を大きく下回る状況であり、出産、育児を機に一旦離職し、子どもが大きくなったら再び働き始める傾向が強い。
- ・このような中、0～2歳児の保育所入所割合は年々増加し、育児休業を取得し職場復帰したい女性は増加する中、保育サービスの充実と、仕事と家庭の両立に向けた、家族・地域・企業の更なる理解促進が必要となっている。

事業の特徴

- ・人口減少・少子高齢化の中で、女性があらゆる分野で能力を発揮していくことは、社会全体にとって極めて重要であるが、性別による固定的な役割分担意識は根強く、仕事と家庭の両立が困難などの理由から出産を機に退職する女性が多いなど、女性がいきいきと活躍する上では、企業における職場環境改善とともに、社会全体の意識改革が必要となっている。
- ・このような状況を踏まえ、本事業では経営者、働く女性の意識改革をはじめ、女子学生に対する早期キャリア教育など、女性の活躍推進に向けた総合的なサポートを図るとともに、様々な交流事業を通じた女性ネットワークの拡大を目指している。
- 【経営者】 女性の活躍推進トップセミナー → 職場環境改善、女性登用拡大
- 【従業員】 女性のための働き方セミナー → 仕事と家庭の両立、キャリアデザイン
- 【学生等】 県内で活躍する社会人女性との交流会 → 早期キャリアビジョン形成

事業の効果

- ・トップセミナーにて経営者の理解を深めた上で、参加企業の女性従業員を働き方セミナーに誘導するスキームは、経営者、従業員双方の意識改革に効果的であった。
- ・全体的に参加者の満足度も高く、各種セミナー等では参加者がお互いに連絡先を交換するなど、緩やかなネットワーク形成に繋がった。

| 項目 | 成果(目標値達成) | 満足度(アンケート) |
|-------------|------------------------|------------------|
| ①トップセミナー | 参加者 149社 205名 | 講義:96% 事例発表:92% |
| ②女性の働き方セミナー | 参加者 131名 延べ211名 | 1日目:94% 2日目:100% |
| ③女子学生の交流会 | 参加者 190名 学生:149 社会人:41 | 学生:97% 社会人:100% |

目的・目標

| 項目 | 数量 | 成果目標 |
|-----------------|-----------------|----------------|
| ①トップセミナー【国庫】 | 5回(5圏域各1回) | 参加企業数 合計100社以上 |
| ②女性の働き方セミナー【国庫】 | 5回(5圏域各1回2日コース) | 参加者数 合計100名以上 |
| ③女子学生の交流会【国庫】 | 5回(県内5大学各1回) | 参加者数 合計100名以上 |
| ④全体交流会【県単】 | 1回(岐阜市) | 参加者数 合計100名以上 |
| ⑤活躍する女性取材【県単】 | 90名 | 取材・紹介90名 |

連携団体

【事業連携体制】

- 【行政】 岐阜県、岐阜労働局、中部経済産業局、市町村
- 【企業】 経営者協会、経済同友会、商工会議所連合会、商工会連合会、中央会 他
岐阜県子育て支援エクセレント企業(H27末:55社)
- 【労働】 連合岐阜、社会保険労務士会
- 【就労】 県人材チャレンジセンター、ハローワーク(マザース)
- 【大学】 岐阜県学生就職連絡協議会(県内14大学)
- 【子育て】 岐阜県助産師会、子育て支援NPO、保育関連事業者
- 【貧困】 県ひとり親自立支援センター
- 【報道】 岐阜新聞 他

今後の課題

- ・経営者、従業員、学生と幅広い層を対象に事業を実施しているが、各事業の目的、成果については、具体的な成果指標を設定し、事業効果をさらに検証していく必要がある。
- ・特に「働く女性」をターゲットにした事業については、女性ネットワークの拡大、地域での新たな取組みの実施などの、発展性も視野に入れた事業企画が必要である。
- ・女性の活躍が多様化する中、事業目的、ターゲット、成果、発展性を十分精査し、行政の担うべき役割を明確にしていく必要がある。

事業の概要

◎女性の活躍推進トップセミナー ～企業の成長と業績向上に女性の力を～

- ・経営者・管理職・労務担当者の方々を対象に、女性の活躍推進に向けた課題や、具体的な取組みについて学ぶ「女性の活躍推進トップセミナー」を県内5会場で開催し、約250名の企業関係者が参加。
- ・講師に(株)東レ経営研究所 ダイバーシティ&ワークライフバランス推進部長の宮原淳二氏をお迎えし、日本や岐阜県の現状を踏まえ、女性が社会で活躍するメリットを具体的な事例と共に紹介。女性登用の際のポイントなどのケーススタディを盛り込んだ実践的な講義を実施。第二部では、県内各地域で先進的な取組みを進める「岐阜県子育て支援エクセレント企業」から自社の取組みと、その効果について発表。

| | | | |
|------|-------|---------------|---|
| <岐阜> | 11/9 | アース・クリエイト有限会社 | 営業本部長 岩田 良 氏 (H26 厚生労働省 イクメン企業アワード グランプリ受賞) |
| <飛騨> | 11/13 | 株式会社 飛騨ダイカスト | 代表取締役社長 渡邊 正憲 氏 |
| <中濃> | 11/16 | 株式会社 岩田製作所 | 総務部長 岩田 伸 氏 |
| <東濃> | 11/24 | 株式会社 ザイタック | 管理部門長 倉田 里美 氏 |
| <西濃> | 11/25 | 社会福祉法人 フェニックス | 企画管理室長 吉田 理 氏 (H25 内閣府 子どもと家族・若者応援団表彰 内閣総理大臣表彰受賞) |



◎ぎふジョ！働き方セミナー ～私らしく働くために～

- ・仕事と家庭の両立を目指す女性のための「ぎふジョ！働き方セミナー」を県内5会場で開催し、約150名の女性が参加。年齢、職種、働くスタイルもそれぞれ異なる人たちが参加したが、みなさん共通することは、仕事と家庭の両立には「時間の使い方」と、「周りの人（職場も家庭も）の協力」が必要とのこと。
- ・講師にコネックス代表の浦野真奈美氏を迎え、自分のやりたい事が出来る「時間の使い方」や、周りの男性とうまく関わるための「ロジカルシンキング」について、グループディスカッションを通じて学んだ。
- ・活発な意見交換を行い、講師からのアドバイスを受けながら、これからの自分自身のキャリアビジョンを描いた。



◎女子学生と社会人との交流事業 ～私らしさを発見しよう！～

◆大学交流事業（県内5大学）

- ・これから社会に出る女子大生の皆さんに向けて、自分らしい生き方（働き方）、夢を描く事（キャリアビジョンを持つこと）の大切さについて考えていただくために、県内で活躍する女性（社会人女性）との交流会を県内5大学で開催し、女子大生約150名、社会人女性約50名が参加。

※朝日大学、東海学院大学、岐阜大学、中部学院大学、岐阜経済大学



◆全体交流事業（岐阜市）

- ・県内で活躍する社会人女性との交流会「Dearぎふジョ！大女子会」を開催し、女子学生及び社会人女性約100人が参加。
- ・第一部では(株)Woomax代表の竹之内幸子氏による講演会を開催し、第二部では、「語り合おうワールドカフェ！」として、「女性がイキイキと働き続けるための理想の働き方」について、グループディスカッションを実施。

